

第2回北区立中学校部活動地域展開等推進協議会
会議録

日 時：令和7年11月6日（木）午後6時30分～午後7時40分
場 所：北とぴあ902会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

- （1）令和7年度地域クラブ活動の導入について
- （2）地域クラブ活動指導者研修の実施について
- （3）部活動地域展開等に伴う中間支援組織との連携について

4 その他

5 閉会

<配付資料>

- 資料1 令和7年度地域クラブ活動の導入について
- 資料2 地域クラブ活動指導者研修の実施について
- 資料3 部活動地域展開等に伴う中間支援組織との連携について
- 資料4 北区立中学校部活動地域展開等推進協議会設置要綱

出席者 東洋大学健康スポーツ科学部スポーツ科学科准教授
東京藝術大学演奏芸術センター准教授
中学校長会代表（稲付中）
北区立中学校PTA連合会理事
北区スポーツ推進委員
東京都北区体育協会専務理事
北区文化振興財団事務局長
教育振興部長
教育振興部参事
学校支援課長
教育指導課長
事務局 生涯学習・学校地域連携課長
（他、事務局担当者）

○会長

それでは、定刻となりましたので会議を始めさせていただきます。

(会長挨拶)

まずは、定足数及び配布資料の確認について、事務局からお願いします。

○事務局

本協議会の事務局

教育振興部 生涯学習・学校地域連携課長でございます。

まず、定足数について、ご報告させていただきます。

本日は、全委員の皆様からご出席いただいております。本協議会の開催に必要な定足数を満たしていることをご報告申し上げます。

また、本日予定しております議題の3「部活動地域展開等に伴う中間支援組織との連携について」と関連があるため、協議会設置要綱第6条第4項の規定に基づき、事前に会長の許可をいただいた上で、団体の代表の方（以下、団体代表者とする。）にご出席いただいております。

次に、本日の配布資料ですが、資料1から資料3までと参考資料として本協議会の設置要綱を配布しております。

書類の不足等ございましたら、ご用意させていただきますので、お気づきの際、お知らせくださいますようお願いいたします。

○会長

それでは、次第に沿って進めさせていただければと存じます。

はじめに、議題の1「令和7年度地域クラブ活動の導入について」です。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは資料1、令和7年度地域クラブ活動の導入についてご報告いたします。

令和7年3月に策定した北区立中学校部活動地域展開等推進計画に基づき、令和7年度から新たに導入する地域クラブ活動について、公募型プロポーザル方式による運営団体の選定を進めて参りました。

プロポーザル審査委員会における審査の結果、3団体が契約交渉候補者として決定されたため、令和7年度は、お示しの運営団体及び種目について地域クラブ活動を導入いたします。

また、計画に基づき、地域クラブ活動の拡充を図るため、令和8年度から開始する地域クラブ活動について、公募型プロポーザル方式による運営団体の選定をこれから進めて参ります。

なお、資料の2ページには、女子サッカーは雨天のため中止となりましたが、プログラミングの体験会と剣道の初回の活動の様子を掲載しておりますので、ご高覧いただけますと幸いです。以上ご説明申し上げます。

○会長

それでは、ただ今の説明について、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

(質疑応答なし)

○会長

それでは、議事を進めさせていただきます。

議題の2「地域クラブ活動指導者研修の実施について」です。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは資料2、指導者研修の実施についてご報告させていただきます。

第1回推進協議会においてご報告させていただきましたとおり、生徒及び保護者が安心して地域クラブ活動に参加できるよう、北区と包括協定を締結している学校法人東洋大学と連携し、10月4日及び5日の2日間にわたり、6名の東洋大学の先生にご協力いただき、指導者研修を実施いたしました。引き続き、教育委員会といたしましても、指導者の質を確保するため、定期的な研修の実施を検討して参ります。

なお、資料の4ページには、当日の研修の様子を掲載しておりますのでご高覧いただけますと幸いです。

以上ご説明申し上げます。

○会長

それでは、ただ今の説明について、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

(質疑応答なし)

○会長

それでは、議事を進めさせていただきます。

議題の3「部活動地域展開等に伴う中間支援組織との連携について」です。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは資料3、部活動地域展開等に伴う中間支援組織との連携について、ご説明させていただきます。

北区における部活動の地域展開等につきましては、令和7年3月に策定した北区立中学校部活動地域展開等推進計画に基づき、新たに地域クラブ活動を導入するとともに、既存部活動の充実として、部活動指導員及び部活動指導補助員の拡充並びに合同部活動の実施に向けた取り組みを進めることとしています。

一方で、新たに地域クラブ活動を担う団体や部活動指導員となる人材の確保が課題となっており、こうした課題に対して、他自治体においても実績のある事業者が有するノウハウ等を活用し、連携して取り組むことで、計画に基づく取り組みを着実に進めていきたいと考えております。

団体や人材の発掘だけではなく、各地域クラブが抱える運営面の課題に関する相談窓口やス

ポンサー資金を活用した練習着、スポーツ用品の提供、また指導者研修の実施を通じて、各地域クラブの活動をサポートしていきたいと考えております。

事業の実施にあたっては、事業者と連携協定及び業務委託契約の締結を想定しております。
以上ご説明申し上げました。

○会長

それでは、ただ今の説明について、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

(質疑応答)

○委員

具体的なイメージがつかめないなので、何か例に挙げてご説明いただけるとありがたいです。

○事務局

今日団体の方にも来ていただいておりますので、取り組みをご紹介いただければと思います。

○団体代表者

お忙しいところお時間いただきありがとうございます。

まず、我々、弊社の団体につきましては、部活動の地域展開のサポート、ご支援をさせていただき事業をやらせていただいている団体でございます。

指導者を直接派遣するというよりは、どちらかといえば、担ってくれるような団体を見つけてきて、どう進めていくかを一緒に考えていく、今後課題になってくるような、地域展開をしていく上で、不足してくる資金を、我々スポンサーという扱いで、ご協力いただける企業を集めてきて、ご支援をさせていただいています。

他自治体の事例になりますが、指導者研修会、不足している人材を探してくる、一番は今お話をさせていただきましたスポンサー企業を集めてくるというところをやらせていただいております。

子供たちにスポンサー企業のロゴを入れたTシャツなど配布させていただきつつ、不足しているところに、予算をつけていくような活動をやらせていただいております。

○委員

具体的に、地域クラブ活動を担う団体の情報はどのように得ているのでしょうか。

○団体代表者

企画イベントを通じて、情報を集めてくるということをやっております。

また、色々なスポーツの団体との繋がりがもともとある会社にはなりますので、そういった繋がりも活用しながら、担い手の団体とも連携を図っていきたいと考えております。

○委員

北区体育協会に所属している団体が34あります。

そちらの方で、今回の女子サッカーと剣道をスタートしたのですが、その他の団体でちょっと今、どうしようかなという、逡巡しているところがあります。

そういった団体の悩み、問題を一緒になって解決いただくことは出来るのでしょうか。

○団体代表者

おっしゃる通りそれをぜひやらせていただきたい。

団体ごとに悩まれている内容、課題も違うと思いますので、そこをお伺いした上で一緒に進めていきたいと考えております。

また、予算的に悩まれている、課題を持たれていることも多いので、その部分の解決ができれば、付随して解決を進められる方法があると思っています。

スポンサーでご協力いただけるケースもたくさんあります。そこから予算をつけさせていただきつつ、ご一緒できるような体制を作っていけたらいいなっているのは、と思っています。

○委員

例えば何か疑問点があった場合、話がしたいというときは、どのようにするのでしょうか。教育委員会を通して話をするのか、それとも直接やり取りが出来るのでしょうか。

○事務局

まだ具体的なスキームは固まっておりませんが、団体によっては、手を挙げたいけれど、いろいろな不安があるっていうところ、今回3団体が始まったことによっても様々な課題が見えてきたところもあるので、今年度の経験も踏まえながら中間支援組織を入れることによってサポートができる、本来我々がすべきところでもあります、プラスアルファでサポートいただければというところで、導入について検討を進めたいと考えております。

もう1点、中間支援組織を入れる一番の強みとしてスポンサー、行政主体でスポンサーをとってくるというのはなかなか難しいところがあります。

けれども、これについて地域の金融機関等と連携しながら進めていただけるというお話がありましたので、ゆくゆくは保護者の負担を減らしていきたいっていうところであったり、活動用具も学校部活動と違い自分たちで用意しなければいけないとか、そういう運営するにあたって必要な用具を、そのスポンサーから提供していただけたらとか、あとは先ほどTシャツの事例などもお話いただきましたけど、そういったスポンサーのロゴが入ったTシャツとか配布できることによって、活動に必要な衣類を保護者が負担しなくて済むといったメリットが出てくるとかなというふうに考えております。

○委員

スポンサー企業は地元の企業になるのでしょうか。

皆さんが、何らかの資料に基づいて、営業活動をするのでしょうか。

○団体代表者

他自治体の事例でお話させていただきますと、令和7年度ついていただいた企業の半分は地元の企業です。

ただ、それ以外は県外の企業になりました。

もちろん、一番は地元の企業にご協力いただきたいというところと、プラス、我々としても地元こういう企業もあるということ、子どもたち、保護者にも知ってもらえる機会になったらいいなと思っているので、もちろん優先的には、地元北区の企業にお声がけをさせていただいた後に、ご要望があれば区外の企業からの案件も、お受けさせていただくという形をとらせてもらいたいと考えております。

○委員

スポンサーに求めるものはいろいろなですね。

お金であったり、物であったり、PRであったり色々なことを考えてらっしゃるのでしょうか。

○団体代表者

資金をご提供いただくのが一番ありがたいところなのかなと思うのでそこでお話をさせていただくケースがメインになるかと思います。

自治体、企業ごとにやりたい要望も変わってきたりするので、そこは双方のご要望をお伺いし、我々でオーダーメイドの型を作って、できる範囲のところを提供していただく形が一番かなと思っています。

○委員

場所の提供のようなことも含まれますか。

○団体代表者

体育館を保有されている企業がいらっしゃいまして、資金を少し減らさせていただいた分、体育館を無償で使用させていただいている事例もございます。

○委員

スポンサー企業からするとうまみは何でしょうか。

簡単にスポンサーが取れるのでしょうか。

○団体代表者

大手企業に多いかと思いますが、少子高齢化対策予算をつけられている企業が増えておりますので、その予算から頂戴するっていうところがベースになっているかなと思います。

あとプラスアルファ、Tシャツなどにロゴを入れるところでは、子どもたち、保護者の方に知ってもらえる機会につながるという点で物品を提供していただける企業も現状多いような状態です。

あと補足するところと言うと、出していただく費用を捻出するところから一緒にやりますっていうご提案をさせていただくケースもあります。

メリットを我々の方で作らせていただき、ご協力いただける企業と一緒に支援していただくということもやらせていただいています。

○委員

大きなクラブチームでもないのにスポンサーがつくのでしょうか。

○団体代表者

(事例説明)

先ほどお伝えした企業に少子高齢化対策予算があるっていうところもそうですし、あとは、先ほどお話をさせていただいて、我々がその費用を捻出していくところから入らせていただいて興味を持っていただいて契約出来た事例もあります。

○副会長

その道の専門の方がサポートに入って、営業とかしてくだされば基本的にとっても良いことだと思いますが、1つ気になったのが、それが果たして継続的なものかというところ、部活動、その子供たちが継続的に取り組んでいくもので、今年ちょっと予算がないので辞めますとなるのが一番怖いかと思います、その点はどうでしょうか。

○団体代表者

もちろんそのリスクが絶対にはないとは言いきれませんが、支援させていただいている他自治体では、もう令和8年度以降の営業活動をスタートさせていただいております。

今年度支援いただいている企業に来年度継続していただけるかヒアリングさせていただいて、自治体の予算、目標の金額との差分はどれぐらいなのかというのを、しっかり出させていただいた上で、なるべく早めにそういう活動をスタートしていくところで、もし不足してきているところがあれば、追加で別の企業もしっかり探してくるっていうような形で、提供できればなと思っています。

○副会長

地域クラブ活動のほかに北区は中学校がやっている部活動もしっかり支援をしていきたいと思っていて、ご相談をさせていただいたときに部活動指導員の確保がやはり課題だというところで、人を探していただくとか、北区が困っているところに対してマッチングするような、その人材確保については、ぜひ、ノウハウをいただきたいなと思っているのですが、そのあたりについて、ご説明いただけますでしょうか。

○団体代表者

このケースで言うと、プロのチームじゃないですけども、そういった団体との連携というところが一番手っ取り早いかなとは思いますが。

引退する選手の行き場に困っているスポーツチームも今実際たくさんあるので、そういったところから集めてくる、また他自治体では、一般の方が参加するようなイベントに参加していただき、指導に興味持ってくれた方に対してアプローチしていくということをやらせていただいております。

○委員

今までのお話しはスポーツ系クラブ前提だと思いますが、中間支援組織の在り方として文化系クラブへの支援はどのようにになりますか。

○団体代表者

文化部の方もご対応をさせていただいております、楽器など高額な物品購入に向けて、お金を貯めていくということを他自治体でやらせていただいております。

本日お話しをさせていただいているものが体育会系なので、スポーツの話になってしまいましたが、他の理事には文化部、美術系や音楽系を担当させていただいているメンバーもおりますので、文化部の方も平等に支援させていただければと思っております。

○委員

資料3の中間支援組織の支援、②地域クラブへの支援について、公募で手を挙げようと思っている前に支援を受けることが出来る仕組みなののでしょうか。

○事務局

はい、公募に手を挙げたいと思っているけれどもノウハウがないという話を聞きますので、まさにそういった団体の相談を受ける窓口としてお願いしたいと思っております。

もちろん選定後の地域クラブ活動に対する支援もあわせてお願いしたいと思っております。

○委員

部活動指導員を登録した後ですが、研修制度みたいなものはあるのでしょうか。

○団体代表者

東洋大学さんがいらっしゃいますので、一緒にできたらなっているところが前提ではありますが、他自治体でも、令和7年度ですと、指導者の研修会を2ヶ月毎くらいでやらせていただいております、企画運営、講師の方にお話をさせていただくところすべて我々のほう行っております。

指導者のレベルを上げていくところに関しては我々も賛同しており全力でやらせてもらえたらなというところであります。

あと逆にこういうことを聞いてみたいといったご要望があれば、最大限ご提供させていただければと考えております。

○委員

部活動指導員を探すのが大変といった現状です。

中学校の部活動は、一生懸命頑張って勝っていくという部活もあれば、楽しく出来れば良い、楽しくやりたい子もいれば勝ちたい子もいる、勝ちたいと言いながらあまり一生懸命出来なかったなど、色々な難しさがあります。

そういった難しさの部分はどうか。

○団体代表者

我々としてのスタンスは、もちろん部活動っていうものが、勝つための指導をする、強化っていうところもありますが、楽しんでスポーツをやりながら、スポーツを通じて社会で生きていく術を学んでいく場であると思っています。

強化ということに関しては色々な取組みがあると思いますが、他自治体ですと、もっとうまくになりたいという子に対してはオンラインでプロ選手から指導を受けられるという環境を作っています。

○委員

中学生同士のいざこざなどに対応できる指導者といった点はいかがでしょうか。

○団体代表者

保護者からの相談等もあると思うので、我々のほうで対応させていただきながら、他方、そういった対応が出来る指導者にレベルを上げていく、育てていくということも出来ると思うので、研修会を活用しながら、最大限ご支援できればと思います。

○委員

部活動指導員を雇うときに、質が担保出来ているかどうかという点は非常によく見ていて、特に技能面はそうですが、もう1つ重要なところとしては、ハラスメントしないとか、そういったところがあります。

その点について、どのように担保していくのか。また失敗事例があったら、教えてもらえますか。

研修でアップデートしていくことは出来ると思うのですが、その前の段階で相応しくない行動をとられるか、どう判断して推薦していくのでしょうか。

○団体代表者

我々との面談との中であまりに勝利至上主義すぎるときは考えを改めてもらえるかといった話をしたことはあります。

子どもたちが自分自身でこれにトライしたい、やってみたい、そのためにはどうしたらいいか考える環境を作ってあげることが一番大事だと思っていて、考えに共感してくださる指導者かどうかというところを見えています。

勝利至上主義すぎる指導者はどうしてもそこが欠けているというのはあります。

北区の基準と合わせて一緒に進めさせていただければと思います。

○副会長

事務局の立場でお話しをさせていただくと、今回選択肢を増やしたいと思っていて、いきなりパーフェクトなものができるとは思ってはいない。

他自治体でもいろいろ悩みながら多分運営されていて、そこで培ったノウハウを北区で今やろうとしている地域クラブ活動の方にも活かしてもらいたいと思っているし、北区は今やっている中学校の部活動もそのまま存続してやっていきたいと思っているので、今ただでさえ、人

を探すのが大変と言われている中で、こういったノウハウを持たれているところから、或いはご紹介をいただいて、区側で先生たちとご相談しながら入れていくことになるのかと考えております。

この人だったら、うちの中学校の部活に合う人だから、紹介をしてもらった上で、入れていくっていう話になるだろう。

場合によっては、ここじゃなくて別のところがいいかもしれないねっていう話になることもある。ここで皆さん方に全部丸投げしてやってくださいって話では全然ない。

いろんなノウハウがある、いろんなつてがある方に、北区の部活動や地域クラブ活動にご協力いただくこと自体は、北区教育委員会としては、とてもありがたい話かなと思っていて、それを進めていくときには、この協議会で、お話をさせていただいた上で、それだったら進めていっていいよねっていうところをご了解いただかないと進められない形にしているものですから、今日お越しいただいて直接説明を受けていただき、いろいろ委員の皆さん方からご質問いただいてご理解をいただけるか確認をしたいというのが事務局の立場というところです。

○委員

紹介いただいた部活動指導員が今この世間の状況の中、勝利至上主義ではいけないと頭ではわかっていながら、ついつい気合いが入ってしまうっていうのはある。

そういった指導者に対する支援とか、こちらから見て心配な指導者がいた場合、相談させていただくことがあるかと思います。

○団体代表者

我々も一緒に入らせていただきますし、方針が合わず直していただけない指導者に対しては、このままではスポンサーが継続できなくなるといった、ある意味抑止力みたいな形で我々を使ってもらえると嬉しいです。

○委員

ここまでいろいろな話を聞いたのですが、説明のあった1自治体以外に事例はありますか。実績が多いところを重視したいと思っていて、この表を見ると、お金の集め方、スポンサー、企業のロゴが入ったTシャツとか、非常にいいように思えるのですが、ちょっと見えにくいところもあって、先ほど言われていましたが、スポンサーつきました、あまり成果がないので辞めますみたいな企業が出た場合に、一番困るのは生徒です。

そこはしっかり担保していただきたいと思いますし、今聞いているとまだまだその特定の自治体名しか出てないので、保護者側として非常に不安はあるので、そのあたり話をしたいなと思います。

○団体代表者

(事例説明)

証明書みたいな形でお出しは難しいですが、我々としても、そういったところはしっかりと最後まで自信をもってご支援させていただくところを約束させていただきます。

○委員

全体の計画、スケジュールについて説明いただけますか。

○事務局

今後のスケジュールについては、今回本協議会でこれからの連携について了承いただいた場合には、来年度からの実施に向けて仕様等を詰めていきたいと思っています。

最終的にこういった形でスタートするのはまた今後協議会でご報告させていただければと思います。

またスタートして以降、定期的に進捗状況をご報告させていただきたいと考えております。

○委員

来年度からスタート、その前に、制度設計をもうちょっと詳しくしていく、それについてはこちらでまた、お話いただけるということでよろしいでしょうか。

○事務局

来年度からということで区の方でも予算措置等に取り組んでいるところではございます。

次回、年度末にもう1回この協議会を設けさせていただければと思っています。

そこで次の進捗についてご報告させていただきます。

○委員

持ち帰って何か意見や要望等があった場合、事務局に意見を伝えてもよろしいでしょうか。

○事務局

ご意見がございましたら事務局までお伝えください。

○会長

何か他に意見ありますでしょうか。

では私から最後によろしいでしょうか。

1つお願いしたのが、今の事務局のお話を聞く限り、この事業に関しては、この協議会もある種セットという位置付けになろうかと思います。事務局の方から、この協議会である程度議論をしないと前に進めないということを言っていたので、そうなった以上、逆を返せば、この事業自体の成功、不成功も含めて、この協議体の、ある種責任論っていう話にも当然繋がってくる話です。その方向性やスキーム、あと個人的にはどういう契約内容でやるのかも含めて、都度この協議会でご報告していただいて、ある種当事者同士以外の第三者っていう立場で、ご意見を言わせていただいて、そこでもし何か修正できるものがあれば修正していただきたいなと思いますし、そういった立場の協議会というスタンスで話を進めていただけると、非常にありがたいかなと思っています。

スポンサーが取れる、取れないというところは、やってみなければわからないっていうのが正直なところですよ。

やってみただけどうまいかなかった、でもあのとき協議会でも話したよねっていうようなと

ころの中で、我々は多分責任を持った議論をしてかなきゃいけない。

そういう仕組みの中に、この協議会をしっかりと位置付けていただけるとありがたいかなと思っています。

○会長

最後に次第の4「その他」です。事務局から何かありますでしょうか。

○事務局

本日予定している議題にはございませんが地域クラブ活動の参加対象者の拡充について委員の皆様からご意見をお伺いしたいと思っています。

10月から開始した地域クラブ活動の参加対象者につきましては計画に基づき、区立中学校の希望生徒としておりまして、区内在住・在学の国・公立・私立中学生ですとか、あとは小学校高学年児童などへの対象者の拡充については検討することとなっています。

10月から活動を開始しました運営団体から要望がございまして、また一部の地域クラブ活動では、参加者の確保が課題となっていることから他区の状況や地域クラブ活動の特徴でもある学校の枠を超えて生徒との交流を深めるといった視点も踏まえて、令和8年度からは、区内在住の中学生にも対象者を拡充したいと考えており、委員の皆さまのご意見をお伺いしたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

○委員

体育協会参加団体では区立の中学生だけという考え方はないので、開いていただければありがたい。

○事務局

今回この議論をするにあたり発端となったのが、今回開始した3団体のうち特にスポーツの2団体から元々中学生を対象に活動されてきて、今回地域クラブ活動という位置付けで10月から活動をスタートする中で、元々参加していた生徒の中に私立、都立に通っている中学生がおり、そういった子がこの枠組みの中に入れなくなってしまうといったところで、拡大できないかというようなご要望をいただいているところであります。

また、今年度からこの地域クラブ活動に関する所管が当課、生涯学習・学校地域連携課に移行してきたにあたり、地域で行うクラブ活動と広くとらえた中で生涯学習の一環であるという考え方をすると、教育委員会ではありますけれども区立に通うお子さんだけでなく広くすべての区民の方が対象になってくる考え方だなというところで考えています。

一方で地域クラブ活動であるので区によってはもっと広く、年齢層問わず参加可能というところもございます。

例えば世田谷区では中学生以外の世代や国立私立学校の生徒も同時に活動することを制限しないというような、かなり広くとらえているところもございます。

一方で部活動というとらえ方をした場合、他の世代が入ってくるとちょっと意味合いが変わってくるかなというところで、これまでの計画を作る中での議論等も踏まえて、事務局として

は、区立学校以外の私立や都立の学校に通う北区在住の生徒さんについても拡大をしていけたらなというふうに考えております。

○委員

北区内は中学校多いと思いますが、在学者も入れてよいのでしょうか。

○事務局

在学者については、住民情報が必要な場面も今後出てくる可能性もあるというところで議論の対象かなと思っています。

○委員

私立中で自分の学校の部活動になく、希望が集中してくる可能性もある。

そうなった場合、区立学校から始めたって言うところと言うと、区立の子たちが通いづらくなるといった場面が出てくるのかなってちょっと心配があります。

そういうふうにならないように配慮していただければいいのかなと思うのですが。

○事務局

今3つ始めた中でそこまで希望者が殺到していないといった状況ですので、おそらく懸念されているようなことはあまり起こらないかなとは思っていますが、一方で地域クラブ活動の中で担える人数はそれぞれの団体ごとに、上限を設けていますのでそこを超えるようなときにどう選別していくのかっていうのはルール化も必要であるかと、区立学校の生徒を優先するのか、学校にその部活がない子を優先するのかとか、対外的に説明できる基準を設ける必要があるとは考えています。

○会長

他にご意見はございますか。

○委員

別の観点になりますが、地域クラブ活動を展開していくにあたって、ニュースポーツとか、そもそも部活がないので、やりたい人たちはいるけれど、先生たちの協力がなくて部活としてはやれないっていうケースがあります。

そういったものを、地域クラブ活動の目玉としてさせていただければ、団体も実力を試せまし、やりたいという人達にも良いのかなと思います。

新しいことをやりたいっていう人達からどこでやればいいんだろうっていうお話をよく聞くことがありまして、そういったことも何か進められれば一番いいのかなと思います。

○事務局

ニュースポーツについては我々も学校の既存部活動ではなかなかないっていうところでどこかの団体で手を挙げてくれたら嬉しいと思っていまして、もし活動を始めることができたときに、広く、それを周知するためのイベントという形で中学生に限定せずに参加していただける

ようなイベントの企画などは、活動の一環で、ちょっといろいろ調整が必要かなとは思っているのですけれども出来るかなというのがあります。

○会長

他何かありますでしょうか。

先ほどの議題3の中間支援組織を導入について、その後の仕組みとか内容に関してはまだもう少し議論をしていただくという前提で、この中間支援組織を導入していくっていう方向性で進めていくっていうことで、皆さんよろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長

以上をもちまして、本日予定していた議題は、すべて終了いたしました。

全体を通して、何かございますか。

(質疑応答なし)

ないようでしたら、第2回推進協議会は、以上で閉会とさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ありがとうございました。